

全国
最年少
議員

伊藤かおり 議会だより

創刊号!

07.09.01

伊藤かおり後援会連絡事務所

〒990-2321 山形市桜田西5丁目7-3

TEL・FAX 023-679-3690

E-mail kaori-committee@ya2.so-net.ne.jp

議員からのご挨拶

恒例となった東北四大祭りの「山形花笠まつり」も、盛大に催され、またお盆にはみちのく「山形」も帰省客等で大変な賑わいでありました。月も改まり、いよいよ今日から9月、和み安らぐひと時も……子供たちが「ゆかた姿」で昔なつかしい花火をする光景、なんとも言えない風情の中にも日本の良き文化を改めて知るのも今のこの季節ですね。

この度、日頃のご支援に敬意を表す意味でも《議会だより》第1号を発行させていただき運びとなりました。特に地域の皆さまとの“交流の場”とできたら幸いです。

この春、全国最年少議員として文字どおり25歳の若さで山形市議会議員に当選させていただいてから早いもので4カ月になりました。この間(かん)も皆さまから変わらぬご支援とご協力を賜り、本当にありがとうございました。“言い尽くせぬ感謝でいっぱいです。”

おかげさまで、毎日のように議員活動や各地での「ミニ座談会」また、各市民団体様との交流やそして最近では“講演”依頼などで忙しく駆けずり回っております。報告になりますが、先の『6月定例会』においては当選後、初めての代表質問をさせていただいたわけですが、皆さまから選ばれた新人議員としての「自覚」と「誇り」そして、ビジョンを新たにしました次第です。

『一般庶民の目の高さで「思いやり」と「いたわり」の優しい政治を目指す!』のが、私の一貫した“政治理念”であります。

「若者不在、住民不在の政治!」などと言われ続けて久しいですが、市民の皆さまおひとりおひとりの心を心として「民意」というものを反映させた市民総参加の政治でなくてはなりません。これが真の“民主主義”なのです。私、「伊藤かおり」は、皆さまのお台所やお茶の間の声をしっかりと受けとめ、皆さまと市政の「架け橋」としてこれからも頑張らせていただきます。

①若者たちには「夢と希望」を!

そして、

②ご高齢者の方々には「生きがい」を!

さらにまた、

③社会には「活力」を!

平成19年9月1日

山形市議会議員 伊藤かおり

創刊にあたり

庭先のコスモスの花と、稲穂を渡る涼風に初秋の訪れを感じるきょうこの頃です。

この夏は全国的に猛暑続きでして、各地で催された恒例の「盆踊り大会」や夏の夜を彩る「花火大会」などもいつになく暑くて大変だったようです。

この度《議会だより》第1号を発行させていただくことになりましたが、どうか、私どもの活動をご理解いただき、ご一読くださるようお願い申し上げます。

皆さま方の今後益々のご活躍とご健勝、そしてご多幸をお祈りさせていただくと共に本紙が未永く皆さま方より愛読されていくことを切望し、簡単ではございますが発行にあたり一言、ご挨拶といたします。

伊藤かおり後援会



初めての 6月定例会 [要旨のみ掲載] 一般質問

質問 山形に若者をもっと定着させるような雇用環境を創出していくべきだと思うがどうか。

答弁 新たな企業誘致にも力を入れ、若者に魅力ある雇用の確保に努めていきたい。

質問 母子家庭と同等に父子家庭への支援も充実させるべきだと思うがどうか。

答弁 ひとり親家庭子育て生活支援事業などは、母子家庭と同等の対象としているが、児童扶養手当の支給については、国に対し要望することも検討していきたい。

質問 放課後児童クラブについて、地域格差を是正する策を講じてはどうか。

答弁 現在、家賃補助を行い、各クラブに合わせた支援を行っているが、今後とも実態を確認しながら取り組んでいきたい。

質問 待機児童をなくすため、保育園の整備計画を伺いたい。

答弁 18年度に2園を整備し、今年度も1園を整備する予定である。今後とも待機児童の解消に向け、子育て支援に努めていきたい。

質問 優秀な教員を採用するためにも、教育現場の環境改善が必要だと思うがどうか。

答弁 校長を中心に魅力ある学校づくりを進め、教師がゆとりと誇りと自信を持って、児童生徒を指導することが重要である。今後とも国・県に対し、教職員定数の改善を要望していきたい。

質問 食料自給率を高め、後継者不足を解消するような農業支援策について伺いたい。

新たな発想と施策の展開で 若者に魅力あるまちづくりを

答弁 第5次農業振興基本計画において、収益率の高い都市型農業の確立により、農業所得の向上を図るとともに、多様な担い手の育成確保を目指している。今後も関係機関と連携し、各種施策に取り組んでいきたい。

質問 魅力的な商店街の形成と霞城公園内の市営球場をドーム型に改修することで、集客につなげ、中心市街地の活性化を図ってはどうか。

答弁 中心市街地活性化には、国から認定を受けられる基本計画の策定が必要と考えている。また、ドームについては、かつて建設基金を有していたが、財政状況を勘案し、建設を断念した経緯がある。

質問 犯罪に市民が巻き込まれることのないよう、未然防止策への取り組みはどうか。

答弁 現在、地域の方々の協力や子ども安全情報配信システムの導入により、安全確保に取り組んでいる。また、青色回転灯を装着しての防犯パトロールも行っており、今後とも山形市防犯推進条例に基づき、市民の安全安心に努めていきたい。

質問 市庁舎や教育現場でパワーハラスメントが行われている実態はあるのか。

答弁 そのような報告はないが、担当課でも適切に対処する体制をとっている。今後もさまざまな策を講じていきたい。

質問 年々緑が減少している中、本市独自で、年間一人当たり100円の緑環境税を導入し、森化計画を図ってはどうか。

答弁 森化よりも公園整備を優先すべきと考えている。また、新たに税を導入する考えはなく、県のやまがた緑環境税を基にした事業を活用していきたい。

伊藤かおり後援会より

[市民の皆さまへのお願い]

伊藤かおり議員の当選後まもなく、本人の人権を著しく無視し、誹謗中傷するような「デマ」を流した悪質な者たちがおります。これは、まさしく正当な政治活動に対する妨害であるとともに「民主主義」に対する挑戦の何ものでもありません。

伊藤議員は「統一教会の会員である」といった内容の「デマ」ですが、とくにマスコミ関係者や市議会議員からの話によれば、たちまち「うわさ」が広まったようです。なお、お断りしておきますが、当然のことながら私たちは、上記

及び他の宗教団体について批判する立場にはありません。なぜなら、憲法20条「信教の自由」ということで保障されているからです。

私たち後援会としても、このようなきわめて悪質な「デマ」は断じて許すことができないのであります。善良な市民の皆さん！どうかこういった悪質、且つ卑怯な「デマ」にまどわされないように、そして引き続き「全国最年少議員」で将来も有望な「伊藤かおり」に絶大なる応援をよろしくお願いいたします。

なお、私たちは総力をあげて事件に対しての徹底した調査を実施しており、当然のことながら名誉毀損の容疑で刑事事件として告訴する構えで目下準備をしているところであります。

ぜひ、皆さま方からの新たなる情報をお寄せくださることも合わせてお願い申し上げます。

後援会入会のお知らせ

後援会へ入会していただける方をお待ちしております。

どんな活動をしているか興味のある方、どうぞお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ

TEL・FAX/ 023-679-3690

E-mail/kaori-committee@ya2.so-net.ne.jp